

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



157号
2014年3月31日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960-3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ これで良いのか 最高限度高度地区と最小敷地面積

2月26日(水)午後7時～8時半、常盤台地域センターで、常盤台地区住民への説明会がありました。参加者は15名(常盤台からは11名、4名は発言もなくこの人かも不明)でした。

発言内容は、殆ど景観環境の面から反対意見が多かったのですが、区は地区計画をするしかない、いつもの逃げ口上でした。しゃれ街協議会では、ないよりましということで、今後も協議会でガイドラインを出来るだけ守らせるので、区の協力を得たいと言う方向です。しかし、この内容は、1件も現況から既存不適格を出さず、町並み景観の向上を謳いながら、実質は細分化・高層化の規制緩和であり、いくらしゃれ街協議会が頑張っても常盤台の街が壊れていく方向でしかないのでは?と危惧されます。しかも区長の判断次第という例外規定が設けられているのも問題です。パブコメ締切が2日後の28日だったのも 適当とは思えません。この街を保全できるか否かを決するような機会なのですから、行政も区民も慎重に考えていかねばと思います。

○ オープンハウス社の強引な細分化

1丁目39番地の一角を狭小住宅専門のオープンハウスが手に入れ、しゃれ街協議会と十分な協議をすることなく、強引に1戸50㎡という分割で売ってしまいました。常盤台に区が予定している最低敷地面積80㎡以下の狭小住宅が出現するのは情けない話です。

○ 鈴木博之さん告別式

2月3日逝去された常盤台の景観を守る会常盤台まちづくり委員会元代表の鈴木博之さんの本葬儀および告別式が、3月24日四谷の東長寺で行われました。その人徳を偲び、長蛇の列が続きました。

○ 常盤台の歴史写真展と 景観についての講演会

次の予定で写真展と講演会を催します。

* 常盤台の歴史写真展

5月8日(木)～13日(火)

特に、最近常盤台の住民となられた人にはぜひ見に来ていただきたい展示です。この期間に次の企画があります。

* 常盤台の景観計画についての講演

5月11日(日) 15時～17時

水島 信 氏

会場はいつでも「ギャラリー服部」で無料。どなたも気軽においでください。

○ バザーの報告

延期になっていたバザーを3月16日(日)K家のガレージを拝借して行うことができました。

品物受付の日が生憎の大雪だったので、例年の半分程度の規模でしたが、常盤台産無農薬・無添加マーマレードも好評、また、臨時に専門店の手作りキッシュの類も販売したので、賑やかにできました。

売り上げ約6万円から公園の花作りの会への寄付も出すことができました。

マーマレードは1丁目のA家の庭で永年有機栽培されている木の夏みかんと、花作りの会のTさんの千葉の有機栽培夏みかんを提供していただき、保存料など一切使わず、グラニュー糖だけで煮たものです。市販のものに比して自然な苦味が特徴です。これからもどうぞごひいきに!

ご協力有難うございました。

図書館はどうなるのか？

— 移転が現在地で改築か —

板橋区の中央図書館は現在常盤台公園内にあります。元々は常盤台が分譲計画された当時、全体敷地の3%を公園に当てるという健康住宅地にふさわしくという観点から設けられた公園でした。

一時、板橋区は新たに敷地を確保することなく、隣の常盤台小学校のプールを公園内に作り、富士見台小学校なども一緒に利用しようとしたが、日陰に作られたので子供達は寒そうだったと聞いています。

その後、屋上プールを持つ新校舎の完成に伴い、公園のプールは廃止されましたが、その跡に、これまた新たに敷地を確保することなく中央図書館が作られ、既に五十年近くたっているわけです。先日耐震工事を行いました。老朽化に加えてバリアフリー対策が無く、蔵書数も中央図書館とは言い難く、建て替えは必至です。とにかく、公園改修の時のように、ワークショップなり懇談会なり、地元住民の意向を確認し、汲み取る場を設けてほしいと、先日図書館長に申し入れました。

不法掲示物撤去員の委嘱

毎年、常盤台の景観を守る会が呼びかけて、数人の人が電柱などに貼り付けられる不法掲示物の撤去に協力していますが、その委嘱式がありました。後を絶たない状況に、区の姿勢を問う意見も出ました。

東松山歩こう会の感想

一五六号の公園の花作り欄に書いてあった「東松山歩こう会」の皆さんに、常盤台を歩いたの率直な感想をうかがおうと思い、会長の鈴木民雄さんに電話しました。

ところが、常盤台を歩いたわけではなく、常盤台公園を集合場所として、石神井川を歩くという企画だったので、直ぐ石神井川へと向かってしまったので、常盤台の印象は特にありません、ということでした。

「歩こう会」は毎月例会があり、年に一回ぐらいは都心に出ることもあるが、地元中心に歩いているそうです。拝見したところ、中高年ながら颯爽とした方ばかりでした。いつもは人数がもっと多いが、あの時は雪だったので三〇名ほどの参加だったそうです。

板橋区でも史跡散歩のような会があったと思いますが、常盤台についての感想を知りたいものです。

武蔵野市武蔵境駅前の

「武蔵野プレイス」見学

四月十日（木）一時半、「武蔵野プレイス」を見学しませんか？武蔵境駅南口にある武蔵野市の複合機能組織。「図書館」「生涯学習支援」「市民学習支援」「青少年活動支援」などの機能を合わせ持っています。中央図書館の問題を考える上で、とても参考になりそうです。

生活者ネットの五十嵐議員が企画しました。参加できる方はご連絡ください。

常盤台公園のはなづくり

クリスマスローズが例年のように花盛りです。そろそろ株分けを考えています。この花もかなり一般化したので、八重咲きや上向きに花をつける品種、色のきれいなものなどを植えても、盗掘される心配はなくなっただけかもしれません。

水仙が咲き、チューリップも早咲き種はもう開花しています。今年のチューリップはや数が少ないのが残念です。

公園ではサクラの開花前に強剪定が行われました。表面はなんでもない樹木でも、中が虫食いや病気で空洞化している場合があります、そういう枝や幹が大雪や強風で倒れる恐れがあるわけです。

スカスカになったケヤキやスダジイでは、カラスもこの春は巣をかけるのをためらうかも知れません。

十本ぐらいあるサクラも今が花見時です。都内のサクラは一見丈夫そうに見えても排気ガスなどで痛んでいるそうです。

石神井川のサクラ並木は上空から見るとピンクのリボンのように見えるそうですが、この冬の積雪で、大木が二本折れてしまったとか。無くなつた分は切り株の除去が済んでから若木を補充しているそうです。

三月一六日ごろ、ウグイスが公園の近くで一生懸命さえずっていました。環七近くではもっと早くから鳴いているそうです。今年はウグイスが元気な年なのでしょう。